

令和8年度始業式挨拶

いよいよ、今日から新年度が始まります。

高校2年生、高校3年生に新しくなりました。進級おめでとうございます。

私も校長として3年目に入りました。業界用語で言えば「1周」できることになります。校長として3年間この学校で過ごせることを、大変光栄に思っています。私の目標はただ一つ、生徒一人ひとりの成長です。

まず、スクールミッションに掲げられている「コミュニケーション能力」これを、ぜひ確実に身に付けてください。

「この味がいいね」と君が言ったから7月6日はサラダ記念日

この短歌で知られる歌人・俵万智さんは、著書『生きる言葉』の中で、こんなエピソードを書いています。

ひとり息子さんが、家ではゲームばかりしていて心配していた。ところが、沖縄の石垣島に移り住んだことで、友達と暗くなるまで外で遊ぶようになり、自然とゲームから離れていったそうです。

ある日、息子さんはこう言いました。

「オレが、今、マリオなんだよ」

俵さんは、その体験を短歌にしています。

「俺が今マリオなんだよ 島に来て 子はゲーム機に 触れなくなりぬ」

その後、息子さんは宮崎県の山奥にある寮制の中学校で過ごしました。そこではスマートフォンが禁じられており、さまざまな体験を通して、言葉の力、コミュニケーションの力が鍛えられた、という話です。

俵さんは続けてこう書いています。

「コミュカ」という教科は学校にはない。けれども、就職試験の面接官が学生に求める力として、必ずと言っていいほど挙げられるのが、コミュニケーション力だ、と。では、その力は、いつ、どこで身につくのか。

私は、北高生の大きな強みは、コミュニケーション力の高さだと思っています。

コミュカは、机の上の勉強や教科書を読むだけでは身につけません。教室の外で、さまざまな人と出会い、関わる中で育つものです。

そして、北本高校には、教室の外にも学びがあります。

部活動はもちろん、ボランティアや地域連携事業、北本市立中丸小学校との交流事業は、今年も6月に予定されています。

北本市役所は「KISEP」と名付けて、長年にわたり小・中・高校をつないでくれています。

北本市議会では模擬議会が行われ、皆さんからの地域課題の提案に、実際の議員が回答してくれています。

北本ロータリークラブは、ヨーロッパやカナダなどへの留学希望があれば、ぜひ支援したいと言ってくれています。

連携大学は、未来を生きる皆さんに必要な力を身に付ける学びを体験をさせてくれます。

石垣島ほどの大自然はないし、宮崎の山奥ほど隔離された環境でもありません。けれども北本高校は、さまざまな人と、さまざまな機会に出会える場所です。コミュニケーション力を鍛えるには、最適な環境だと、私は心から思っています。地域に出て、人と出会い、考え、対話し、ときには失敗する。そうした経験こそが、「コミュカ」を育てます。これは特別な人だけの活動ではありません。部活動を頑張っている人も、そうでない人も、生徒会に入っている人も入ってなくても誰でも参加できます。ぜひ皆さん一人ひとりが、俵さんの息子さんのように、「マリオ」になって、現実の世界を冒険し、コミュカを確実に身に付けてください。

3年目ですから、もう一つ皆さんの成長に大切なこと、強調させてください。授業で学力を確実に身に付けてください。

「それが苦手だから、この高校に来たんだよ」

そう思う人もいるかもしれませんが、でも、それは狭い考えだしもう捨てていい考え方です。むしろ、北本高校だからこそ、より効果的に学力を身に付けることができます。北本高校の授業は、少人数です。少人数だからこそ、先生の目が1人ひとりに行き届きます。一斉授業だけでなく、グループ学習、ペア学習、個別学習もできます。タブレットやホワイトボードもICT機器を使います。すべての教科が、知識とコミュニケーション力の両方を育てています。

ぜひ、授業に主体的に、積極的に参加してください。

テストの点はいい方がいい。進路選択の自由が広がります。北本高校には52年の歴史があり、大学や専門学校の指定校の数は、皆さんの人数よりもはるかに多い。評定平均の基準と希望する進路条件を満たせば、競争せずに進路を決めることができます。

テストが苦手な人もいます。

そういう人は、提出物を確実に出すこと。暗記力よりも、期限を守り、やるべきことをやり切る力。これは、社会に出てからの常識であり、「生きる力」です。

そして、先生たちは、皆さんのことをよく見えています。
これは自信をもって言えます。担任や部活動の顧問の先生、それ以外の教職員も、皆さんの成長を全力で後押しします。あとは、皆さんの頑張りです。
ここにいる全員が進級・卒業できたら、校長1周目として、これ以上ない物語になります。もちろん、高校生活の主役は皆さん。私は脇役です。よく分かっています。

最後に、俵万智さんの短歌で、私が一番好きな歌を紹介します。

「寒いね」と話しかければ 「寒いね」と答える人のいる あたたかさ
新年度、人へのやさしさも大切にしてください。
新しい一年のスタートです。

令和8年4月8日 始業式